

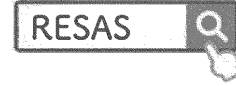
# RESAS

長野県  
飯綱町

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、是非、参考にしてみてください。

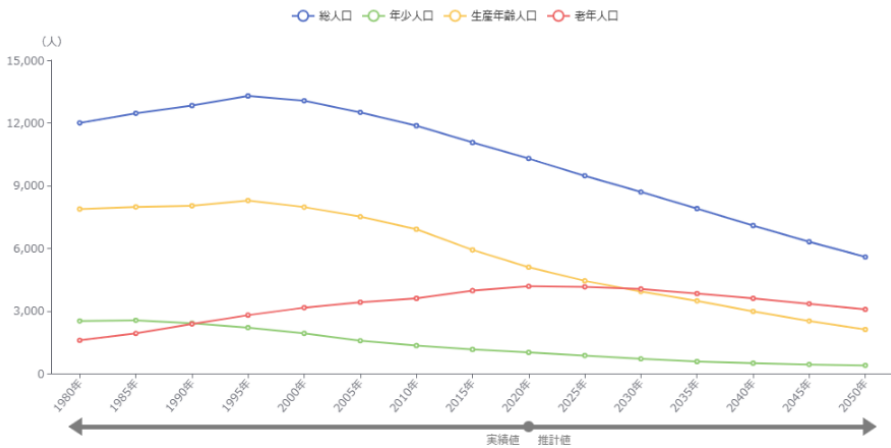
で町内を分析しました。

<https://resas.go.jp>



## 人口

人口推移グラフ  
長野県飯綱町



## 年齢別人口推移

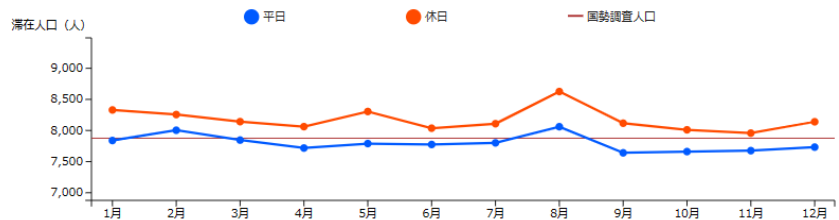
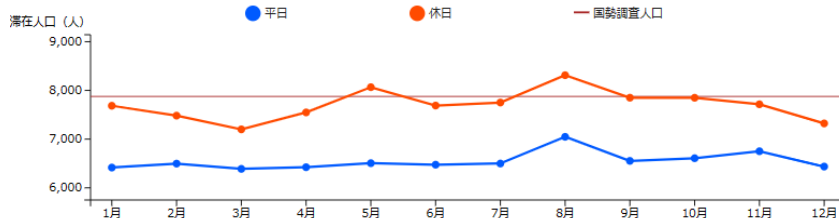
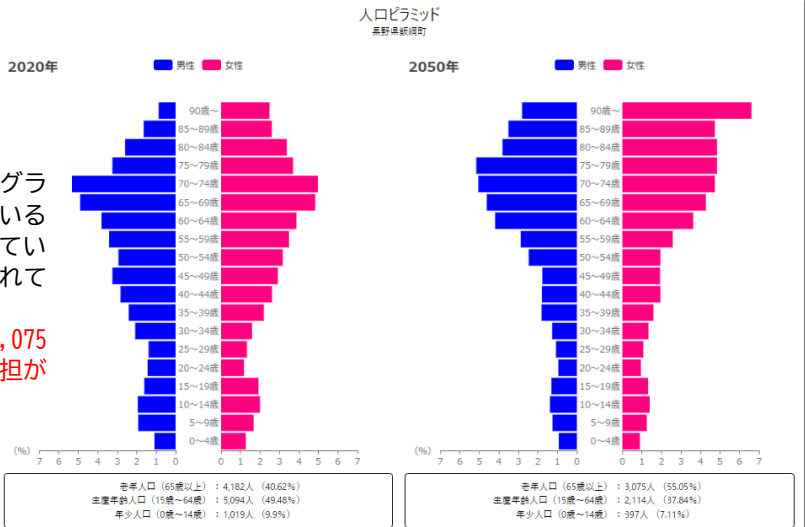
1995年をピークに人口減少が顕著に表れている。人口年齢構成については、1990年代に年少より老年の人口が多くなった。前回調査では2030年代に生産年齢より老年人口の方が多くなると予想されていたが今回の調査結果では2027年頃となり早まった。

※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15歳～64歳、高齢人口は65歳以上を示す。

## 人口ピラミッド

現在と四半世紀先の男女年齢別人口構成を示したグラフです。既に65～70歳が一番多く高齢化が進んでいるが、25年後はさらに高齢化が進むことが予測されている。また、女性の方が高齢人口が多いことが示されている。

前回の調査に比べ2050年の高齢人口が3,077人→3,075人、生産年齢人口2,309人→2,114人と働く世代の負担が増している。



## 滞在人口 (2022年、上：昼間、下：夜間)

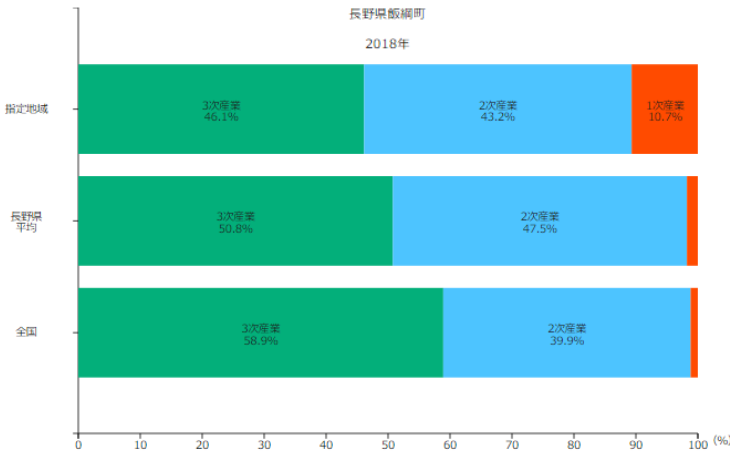
昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフです。昼間の町外に働きに出かける方が多く、夜間には地元へ帰る方が多い傾向にある。また、休日は町外からの流入が多いことから買い物、観光客等の来訪が読み取る。

※昼間は14時、夜間は20時を示す。

# 産業構造

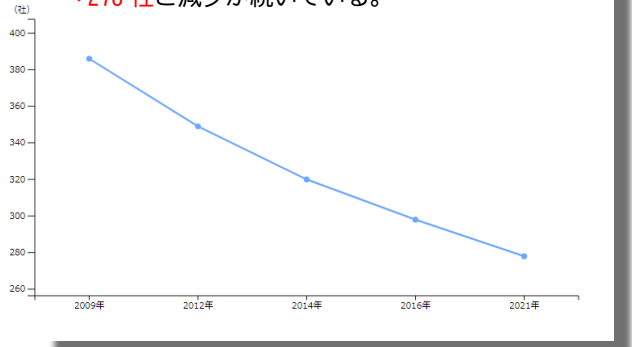
飯綱町の産業の構成割合を全国及び長野県と比較したグラフである。もっとも割合の高いのは第3次産業である。その一方で全国、県下に比べ第1次産業の割合が高いことがわかる。

地域内産業の構成割合（生産額（総額））



## 企業数の推移

企業数の推移をみると 386 社→349 社→320 社→298 社→278 社と減少が続いている。



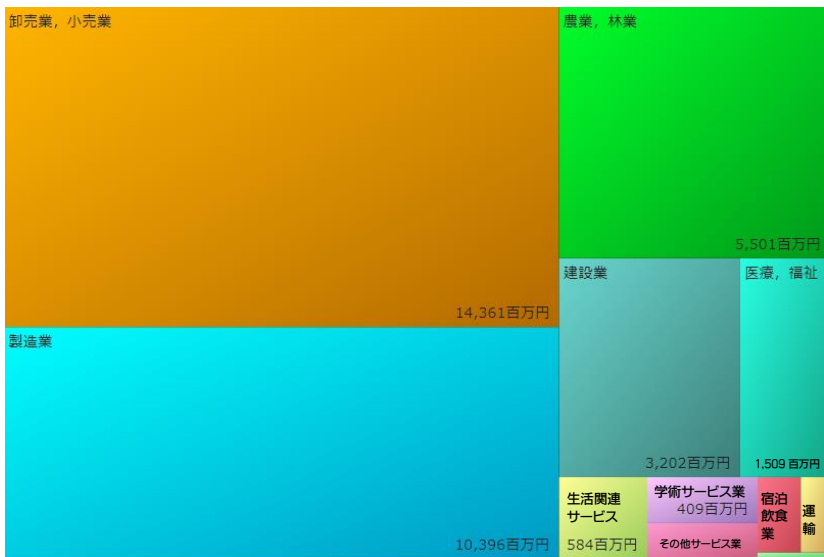
## 企業数(業種ごと)大分類 (2021年)

業種ごとの企業数を面積で示したグラフである。もっとも多いのは前回の「卸売業・小売業」から「建設業」に変化した。

事業者数は前回の県下 44/77 位→43/77 位に全国では 1,319/1,716 位→1,317/1,716 位と僅かに上がった。

## 企業数順位 (2021年)

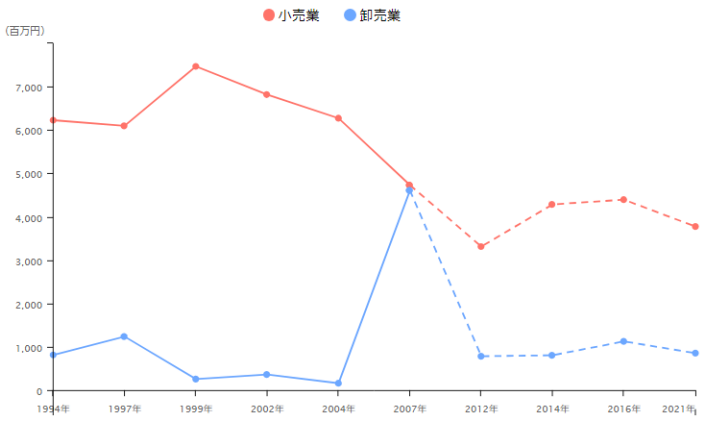
県下、及び全国の事業所数の順位を示している。業者数は前回の県下 44 位→43 位に全国では 1,319 位→1,317 位と僅かに上がった。



## 地域内産業の売上高構成割合 (2021年)

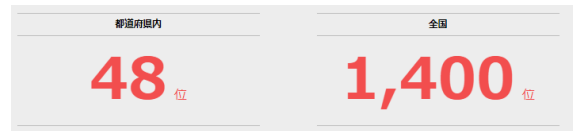
業種別の売上高を面積で示したグラフである。卸・小売業、製造業の2業種が全体の67%を占めている。

# 小売業・卸売業



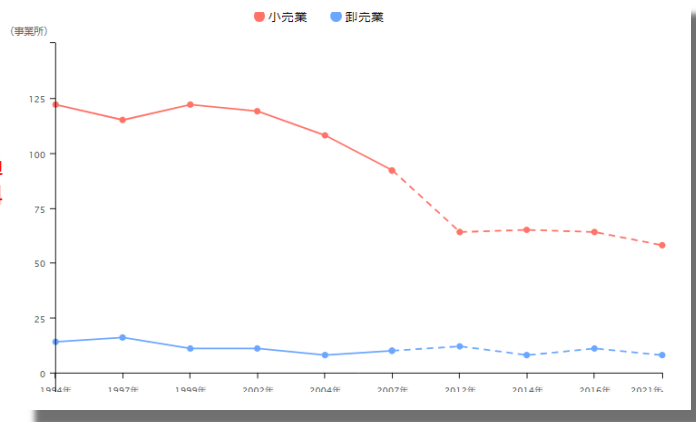
## 年間商品販売額の推移 (2021年)

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。飯綱町の販売額は4,627百万円。5年前の2016年5,518百万円に比べると減少している。順位も県下44→48位、全国で1,385→1,400位まで下がった。

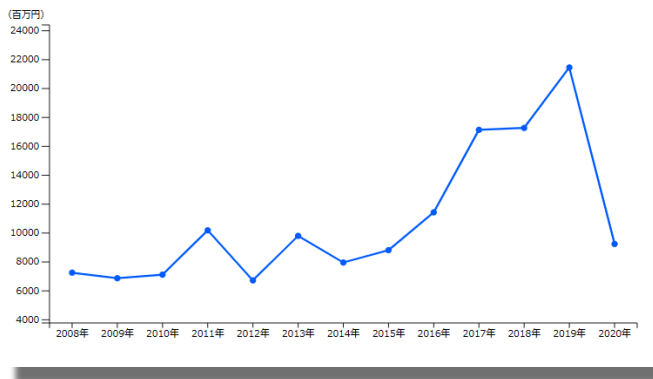


## 事業所数の推移 (2021年)

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。過去の急激な減少傾向ほどではないものの2016年の小売業64社・卸売業12社から58社・8社に減少している。

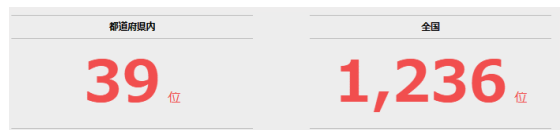


# 製造業



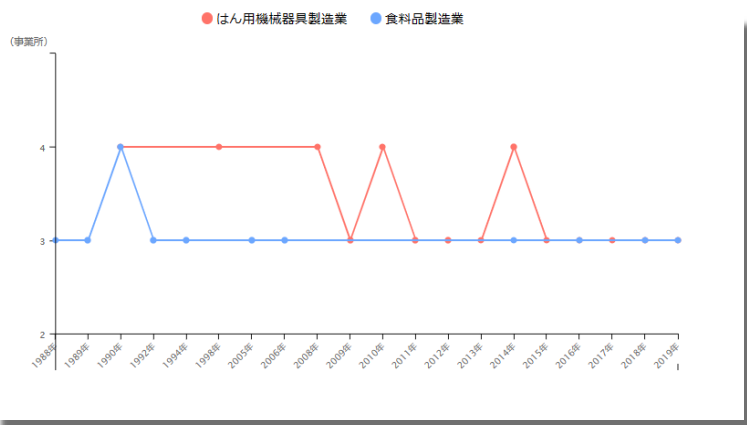
## 製造品出荷額の推移 (2020年)

製造業の年間出荷額の推移を示したグラフである。飯綱町の出荷額は9,243百万円。1年前の2019年の21,457百万円に比べると大幅に減少している。コロナ禍による原材料不足等の影響が大きい。



## 事業所数の推移 (製造業)

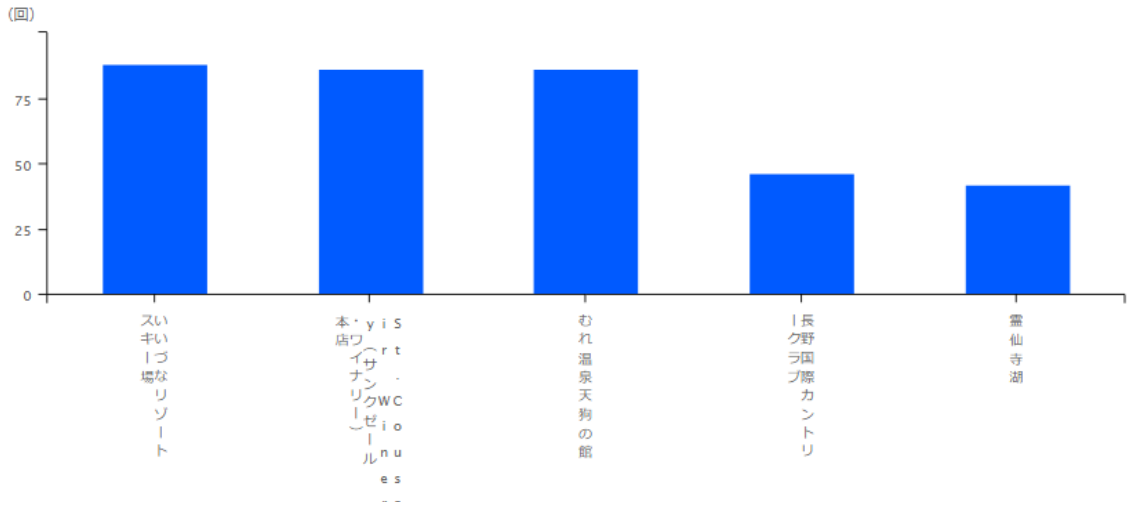
製造業の事業所数の推移を示したグラフである。飯綱町の製造業者数は少なく、10社に満たないが、全国の出荷額が1236位/1741位中と小売業より好成績となっている。



# 観光

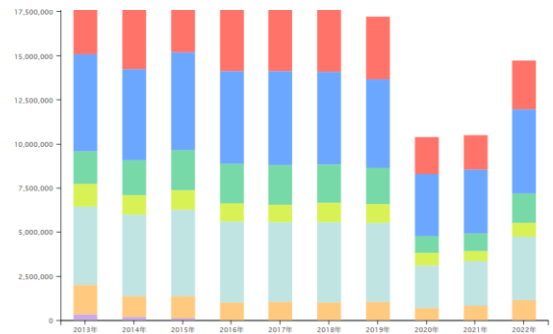
## 目的地別検索ランキング（2022年：交通手段 自動車）

カーナビで経路検索された回数の多い場所、上位5か所を示したグラフである。  
前回調査と比べ1位と2位の順位が入れ替わっている。



## 参加形態（長野県）

赤色が家族、青色が夫婦、緑色が女性グループ、黄色は男性グループ、薄緑色は男女グループ、オレンジ色は一人旅を示している。

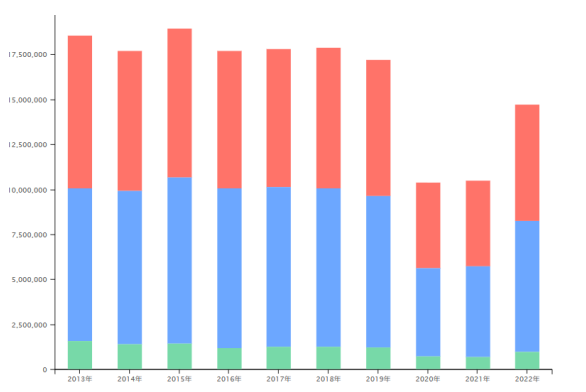


## From-to 分析（長野県）

町内の宿泊者数の集計は無いため、長野県全体の統計を掲載します。  
県内宿泊業の利用状況を示したグラフである。  
2020～2021年の大幅な減少はコロナ禍による影響が色濃く表れた結果である。

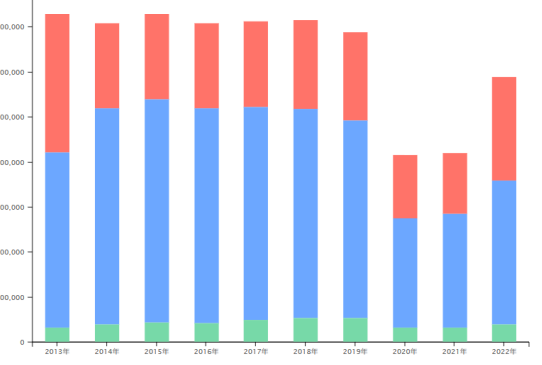
## 性別（長野県）

赤色が大人男性、青色が大人女性、緑色が小人を示している。



## 延べ宿泊数（長野県）

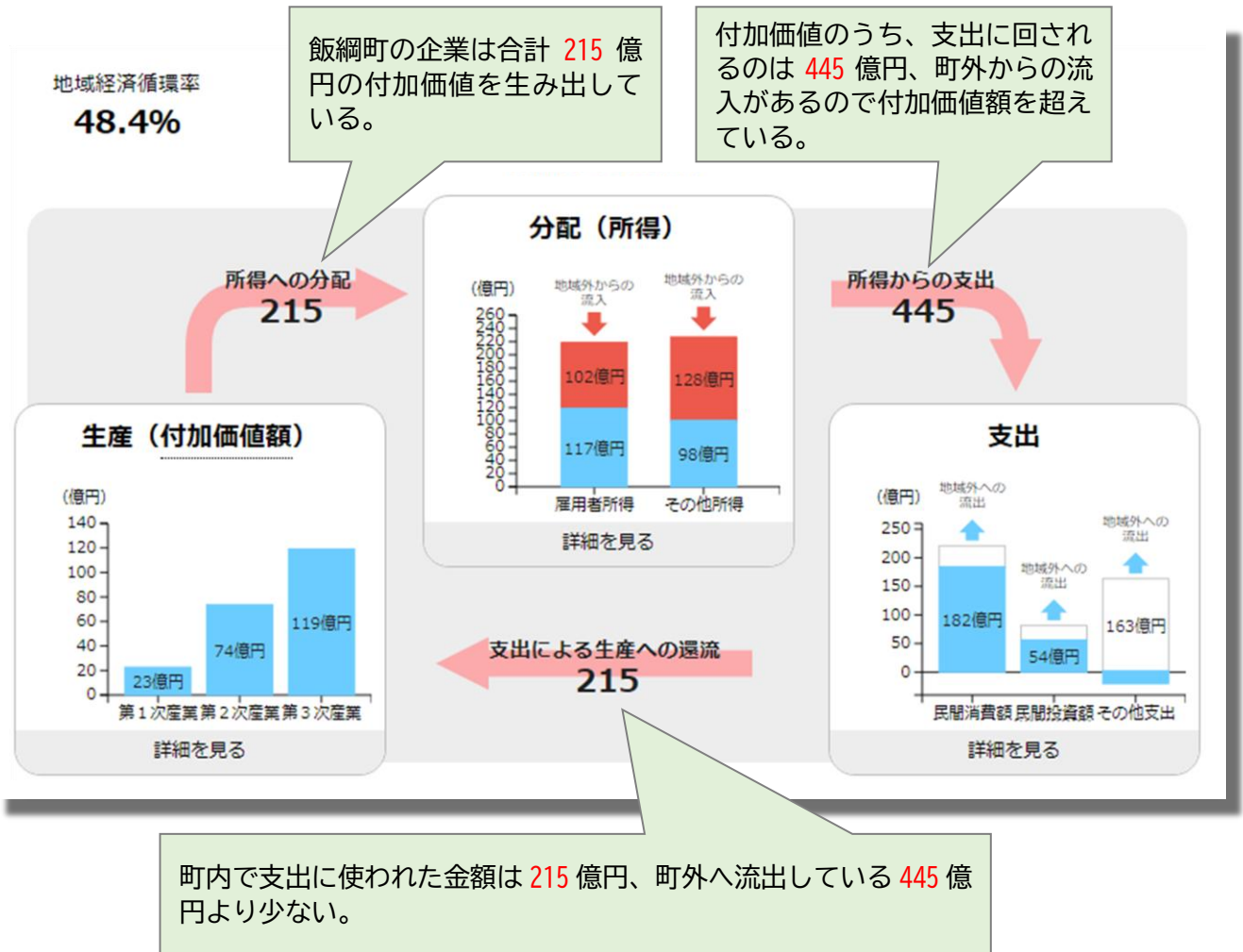
赤色が1泊、青色が2・3泊、緑色が4泊以上を示している。



# 地域経済循環

## 地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域循環図である。



## 地域内の付加価値と所得と支出 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値、従業員の所得、町外への支出流出入率を全国順位で比較。

### 付加価値額 (一人当たり)

2018年

指定地域: 長野県飯綱町

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	150万円	985万円	646万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	1,551位	628位	1,645位

### 所得 (一人当たり)

2018年

指定地域: 長野県飯綱町

	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	208万円	216万円
所得 (一人当たり) 順位	980位	904位

### 支出流出入率

2018年

指定地域: 長野県飯綱町

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	-17.7%	-34.0%	-113.9%
支出流出入率 順位	1,334位	1,307位	1,585位

# 生産性

## 業種別生産性 (2021年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値による生産性の数値と全国指標である製造業の生産性が高い一方、売上高の上位である小売業の生産性は低い。

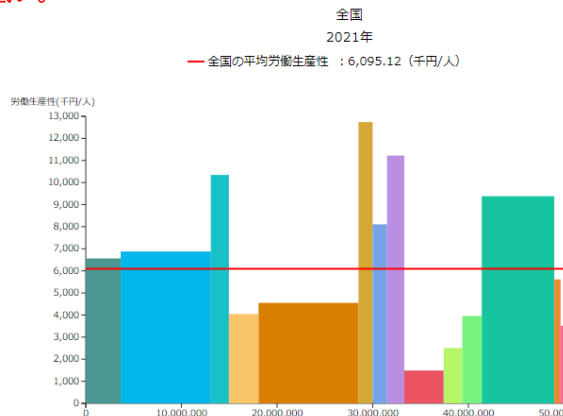
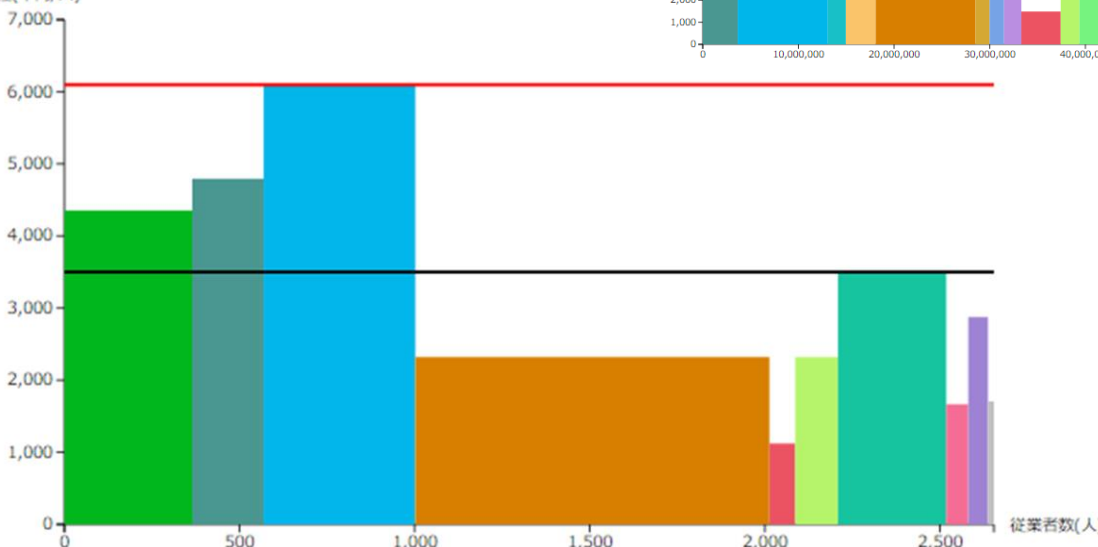
### 従業者と労働生産性から見る付加価値額

長野県飯綱町

2021年

— 全国の平均労働生産性 : 6,095.12 (千円/人)  
 — 指定地域の平均労働生産性 : 3,500.38 (千円/人)

労働生産性(千円/人)



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
● 農業, 林業	4,353.42	365	1,589
● 漁業	0.00	0	0
● 鉱業, 採石業, 砂利採取業	0.00	0	0
● 建設業	4,794.12	204	978
● 製造業	6,094.69	433	2,639
● 電気・ガス・熱供給・水道業	0.00	0	0
● 卸売業, 小売業	2,320.47	1,011	2,346
● 金融業, 保険業	0.00	0	0

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
● 宿泊業, 飲食サービス業	1,121.62	74	83
● 生活関連サービス業, 娯楽業	2,319.67	122	283
● 医療, 福祉	3,488.67	309	1,078
● 複合サービス事業	0.00	0	0
● サービス業 (他に分類されないもの)	1,666.67	63	105
● その他	2,875.00	56	161
● 秘匿・格付け不能等	1,705.88	17	29

「その他」に含まれる産業の内訳

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
運輸業, 郵便業	4,312.50	16	69
学術研究, 専門・技術サービス業	3,809.52	21	80
教育, 学習支援業	684.21	19	13

## お知らせ

前回、新型コロナウイルスによる地域経済の影響調査を「V-RESAS」を用いて分析しましたが当該システムは2024年3月31日に公開及び利用が終了となりました。つきましては前回の分析・報告を最後といたします。